



# たんぽぽぐみだより

2020年 3月 第5号

まだまだ昼夜の寒暖差に気が抜けませんが、ぽかぽかと暖かな陽気が春を感じさせてくれます。

笑ったり、泣いたり、怒ったり、驚いたり…。いろいろな表情や感情を見せてくれた1年でした。大人にとってはあっという間の1年も、子ども達には、毎日が新しい発見や出会いの連続だったことと思います。残り1ヶ月となりましたが、楽しく元気に過ごしていきたいと思います。

## 大きくなりました！

1年を通して自分で出来ることが増え、心も体も大きく成長した子ども達。4月当初は、まだまだ小さくてロッカーや下駄箱の場所を覚えるのが大変で、身の回りのことは、ほとんど保育士が行っていました。

生活面では、個人差はありますが、身の回りのことや衣類の着脱など、保育士が声をかけるとほとんど自分で行えています。「できないー！」とすぐに諦めていたのが、今では、「自分で！」「あかちゃんじゃないもん！」と言って、保育士が手伝おうとすると、怒られてしまうほどです。いろいろなことが出来るようになると、次へ次へと期待してしまいがちですが、まずは、今の子ども達の頑張りをたくさん褒め、これからの成長も見守っていききたいと思います。

保護者の皆様がいつも子どもたちを温かく見守って下さり、それが子ども達の力になったことと思います。たくさんのご協力を頂き本当にありがとうございました。

## 今日は、なに作る？



ブロックや積み木を出すと、「なに作ろうかな…？」と言わんばかりの表情で、何かを作り始める子ども達。遊び始めてからの数分間は、沈黙の時間が流れるほど黙々と「なにか」を作っています。作り終わると、「できた！」と保育士に見せにきます。「なに作ったの？」と聞くと、「バンバン作ったよ！」や「〇〇ちゃんのお家！」、「ぶーぶ、かっこいいでしょ！」と嬉しそうに教えてくれ、部屋中が一気ににぎやかになります。秋頃までは、1人遊びが中心でしたが、徐々に近くで遊んでいる友達に目が向くようになり、「〇〇ちゃんあーそーぼー」と友達を誘ったり、「いーれーてー！」と自分から輪の中に入り、ごっこ遊びを楽しむ姿が多く見られるようになりました。

友達との関わりが増えた分、まだ自分の気持ちを言葉で伝えたりするのが難しいので、トラブルも多く見られます。そんなときには、保育士が間に入って少しずつ関わり方を伝えています。想像力が豊かな子ども達。これからどんな物を作って見せにきてくれるのか楽しみです。

